



# 合格した先輩に学ぶ！ 海外大入試までのスケジュール

DePauw University  
The University of Melbourne  
Swarthmore College

海外進学に向けて、志望校選定、英語の対策、課外活動、アプリケーションの準備、奨学金の対応...などと、やらなくてはいけないことは山ほどあります。そんな全てをやりきった先輩たち。先輩たちが入試まで、“どんな段取りで、どのような対策をやってきたのか”について語っていただきます。

## 入試までのスケジュールと対策は？



Saki N. 先輩  
DePauw University

**高校1~2年生でTOEFL®テストのスコアアップ！  
そして課外活動を数多く！が鍵でした。**

高校1年生の4月から海外進学対策をスタートさせましたが、私は、TOEFL®テストを真っ先に対策しました。自分が育った環境が、インターナショナルではなかったため、英語の読み・書き・話す能力が全く足りていないことに危機感を感じていたためでした。

対策の中でも重きを置いたのは、高校1年生から2年生の間にTOEFL®テストの点数をとにかくアップさせること。90点以上のスコアが取得できれば、希望する大学に出願ができるレベルと分かり、何よりも英語のスコアを伸ばせるだけ伸ばそうとTOEFL®テスト対策を中心に対策を開始しました。しかし、点数がなかなか伸びず、高校3年生の後半まで受験し続けたものの、結局は、高校3年生の5月の点数を大学へ提出しました...

課外活動は高校1年生～2年生のうちに種類を増やして、活動の受賞歴を増やすことをメインに活動をし、高校3年生からはエッセイをメインに取り組みました。私の場合、奨学金を取ることを最優先していたので、3団体のエッセイを締め切り順に書いていきました。全部の奨学金申請が終わった11月頃から本格的に大学へ提出するエッセイを書き始めました。

入試までの期間でTOEFL®テスト対策と課外活動で具体的にやったことは、学年別に整理をすると次のような流れでした。

## Saki N. 先輩のスケジュールと対策

私のこだわりとしては、入試まで対策や準備に本当に色んなことをやらないといけないのですが、私は幼い頃から続けてきたピアノもやめたくなかったので、ピアノと対策を両立して進めたことです。

### 高校1年生

#### <TOEFL®テスト対策>

英単語をメインに対策。この時点でスコア77点でした。

#### <課外活動>

夏休みに海外プログラム参加をしました。学校の授業の一環で書道大会へ応募。その他、年間かけてエッセイコンテストへ応募(でも落選...)。部活も頑張っていました。

### 高校2年生

#### <TOEFL®テスト対策>

各セクション(reading, listening, speaking, writing)の部分対策を強化。

でもスコアは79点と、あまり上がっていない...

#### <課外活動>

生徒会活動でメインの役割を担い積極的に活動!  
1年生の活動と同様に夏休みは海外プログラムに参加、学校の授業の一環で書道大会へ応募、さらに年間かけてエッセイコンテストへ応募(2年生の時も落選...)しました。

### 高校3年生

#### <TOEFL®テスト対策>

ひたすらreadingを練習し、スコアは88点までUP。

5月に受けたこの点数を大学へ提出!

実は、SAT(※)も10月頃に受験したのですが、結果を見て大学へ出さないことに決めたので1回しか受けませんでした。

※ SAT...英語と数学の能力を測るテストのこと

#### <課外活動>

エッセイコンテストへ応募するも落選...(9月まで挑戦)。

#### <出願準備>

7月頃から推薦状を書いてもらうお願いに回る!

#### <エッセイ関連準備>

奨学金申請(3団体)や大学のアプリケーション用に準備を6月から開始しました。

[6月]自己分析

[7月~8月]奨学金申請(1)のエッセイ作成

[8月下旬~9月]奨学金申請(2)のエッセイ作成

[9月下旬~10月]奨学金申請(2)の面接準備、

奨学金申請(3)のエッセイ作成

[11月~]大学提出用のエッセイ作成開始

[1月上旬]奨学金申請(3)の面接準備

[1月15日]大学書類提出締め切り



Emika K. 先輩  
The University  
of Melbourne

**TOEFL®テスト対策をメインに！  
限られる受験回数で目標をクリアしていききました。**

私は、高校2年生9月頃からTOEFL®テストの対策をスタートさせました。SAT®も受けていましたが、TOEFL®テストを中心に、とにかく問題の傾向に慣れていくことをメインに据えて対策をしていききました。

入試までに受けた英語外部検定試験の受験は下記のような感じでした。

### 高校3年生

- 〔2月〕 TOEFL®
- 〔4月〕 TOEFL®
- 〔5月〕 SAT®
- 〔7月〕 TOEFL®
- 〔10月〕 SAT®
- 〔11月〕 SAT Subject Tests™

結局、私は対策開始からTOEFL®テストを受けたのは2回で高校3年生の夏に受けたスコアを提出しました。海外進学を決めて対策を開始した後から入試でスコアを提出できるまでに受験できる回数は、限られています。その中でいかにスコアを上げられるかが大事なのですが、私の場合は、問題の傾向に慣れていくことが必要だったので、とにかくTOEFL®テスト特有の問題に慣れることを対策のメインに据えていました。

課外活動のスケジュールについては、コンクールに応募するなどの活動を主にしていました。1,2ヶ月くらいの周期で、ひとつのことに専念して次の応募に移るというふうにして幅広い活動ができるようにしていました。

### ひこことコラム：学校の友だちとも積極的に関わろう！

海外大学に出願する人は、ほとんどのクラスメイトと、出願する時期や大事な時期が違うと思います。なので、皆がタイムリーに話している内容が気になってしまう中それを振り払う必要があったり、自分だけ異なることを進めていく強さみたいなものが求められます。だからといって殻に閉じこもって自分だけに集中しよう！とは思わず、積極的に関わることは必要です。受験の進め方は違っても、息抜きになりますし、自分の選んだ道ではなくとも国内の進学の動きや皆がどういうことに集中しているのかなど、勉強にもなりますよ。



Isshin Y.先輩  
Swarthmore  
College

**入試までのスケジュールは、  
英語外部検定試験の対策が中心でした!**

私が海外進学対策をスタートしたのは、高校1年生の9月頃からでした。最初の対策は、やっぱり英語からで、TOEFL®テストのテスト対策から始めました。理由は、自分のレベルや勉強の状況を考えると、自分にとっては取り組むのに相対的に簡単であったのと、英語力にまだ自信がなかったなので、とりあえず基本を固めようと思いました。

入試までのスケジュールで肝としたのは、SAT®, ACT® (※)の対策。英語外部検定試験を主軸にスケジュールを組みました。その合間で活動歴に書けるような諸活動(日本脳科学オリンピックやピアノコンクールに出場、教育関係のボランティアなど多数!)を続けていました。

※ACT・・・英語、数学、読解、科学の能力を測るテスト  
本当は、高校2年生12月のSAT®でテストスコアを出し切り終わらせたいのですが、満足のいくスコアが取れなかったため、高校3年生でも英語の勉強を続け、最終的には高校3年生7月のACT®を最後にテストは終わりとなりました。後は、エッセイを高校3年生9月以降から本格的に取り組んでいきました。

いかがでしたか?

海外大入試までのスケジュール、  
少しいメージが具体的になりましたか?  
自分にあった対策計画を立てるため、  
プロに相談するのも、オススメです。



GLOBAL LEARNING CENTER  
Produce by Route H

**1 海外の難関大、名門大に毎年合格者を出している  
ベネッセ最高レベルのオンライン進学塾**

**2 ひとりひとりのレベルや志望に合わせた個別戦略  
中高時代を充実させながら合格を目指せる!**

**3 少人数レッスン×個別カウンセリング  
早めに高いレベルを目指したい人にもぴったり!**

まずは**無料の体験授業**を受けてみよう!!

**無料体験授業&カウンセリング申し込み**